



日刊報 日曜日 休刊 一月廿五 郵税十五 郵費 廣告料 一行四十 発行所 牛谷 新報社

櫻花の春の例祭

本年は格段の賑ひ

平町の總鎮守子齋倉神社

平町の總鎮守子齋倉神社 儀でもあり十八日朝出發の神の例祭は来る十七、八の兩日 興渡御奉仕常番である五丁目及び境内には兩日に亘つて古 青年團員約百名は有終の美を 田原一行の喜劇、文化萬歳、 供進使参向から執行される大 祭二日間の賑はひは松ヶ岡公園 の春に際しては賑はひを見る 櫻花期最高の賑はひかと云は だが恰も市制の實施を控えた 同町では町としての終りの祭

臨時雇を採用

文書戦に待機

總選挙に備へる平局

總選挙も愈々二旬の後に迫 通に上つたが今頃は立候補が 来る二十日頃から文書戦の 一名多いで前より五萬通 展開となるがこれが一掃つら 位は増加するだらうと見て今 思ひをさせられるのが郵便 局だ、平局で前回の總選挙に 三名を採用してサア来い來れ は引受三十萬通、配達十四萬 と待機の姿勢をとつてゐる

自慢の石城馬出陣

開成山種馬共進會に

來月五日から四日間郡山市開 成山に開かれる本縣第三十一 回種馬共進會に石城郡産馬寄 齋組合から出陣される馬は左 の通り
△入道野村永山一美氏所有 牝馬「福根號」
△三坂村伊藤喜一氏所有 牝馬「福根號」
△川前村猪狩松治氏所有 牝馬「松重號」
△義務教育 郡下へ十八萬圓 十二年度に交付される市町村

常識講座

ポリシーは保險證券を たら政策、政綱の類を 云ふ、そこで其のポリ シーを考へる前になど と使ふ、ポリシーと云 へば淨き、尊き、神聖 の意でポリシー、プ ックは聖書のことだ、

オート三輪車

で重傷

小名濱町西町長瀬太藏は十四 日朝オート三輪車を運転、車 体検査のため出陣の途中、信 夫郡松葉村稻荷森地内で道端 の岸石に當つて車体翻覆し左 足骨折全治一ヶ月の重傷を負 つた

女子青年團大會

出席八百名に上る

優良團員を表彰

來る十八日平第三小學校で開 催される第十一回本縣聯合女 子青年團大會は出席者八百名 の豫定で在滿兵團間並に遺族 の援助方法を協議するが當日 左の優良團員を表彰する
大沼郡高田町丑込とみ 田 村那三春町合我はつ 石川 郡那村角田とみ 石城郡勿 來町福田みね 信夫郡野田 村渡邊きよ 双葉郡富岡町 黒澤あきの
意見發表者
尙當日意見發表をなす團員、 演題は左の通り
我が郷土の生める一女性！ 信夫郡松川町丹野かつ△所 感：双葉郡富岡町黒澤あきの △一寸した氣の配り：信 夫郡野田村佐藤千代

在任満二ケ年

佐藤局長榮轉

十八日郡山へ赴任

平郵便局長佐藤守節氏は十四 日付で郡山局長に榮轉、十八 日午前十一時十分發にて赴任 の筈である
佐藤氏は一昨年四月戸石局 長の後をうけて平局に榮任 し在任滿二ケ年である

後任は牛崎氏

平局長の後任は仙台鐵道郵便 局庶務課長牛崎久吉氏とさき かつた牛崎氏は岩手縣野宮郡 野目村生れ通信講習所出身後 かつと通信所經理局にゐた、 昭和九年八月仙台局に轉勤四

工口男に懲役

六ケ月

草野村大字泉崎、猪狩養一 (美)にかゝる住居侵入事件の 公判は十四日午前十一時半區 で開き野木判事から懲役六ヶ 月を言渡された
猪狩は妻子ある身で農村の 婦女子十數名を毒牙にかけ た稀代のエロ漢である

日本精神より見たる

元祿の快擧(八)

これを過りまして山鹿素行 鹿も役人に嫌なさへかけられ の赤穂に残した其の訓化 なかつたことは法治主義を唱 へた大石によつて生きたと 見られるのであります、
その第二は世人の同情であ ります、當時彼れ等五十人が 冬の深夜の出来事とは云へ最 も警戒嚴重な江戸の市中、か しつゝありました一年半、一

市制實施の 躍進的味ひ

新報市「平」の 味發行進曲！

松月堂謹製

案 新 た ひ ら 羊 羹
土産好適品。一本十錢
警報平(電話二〇六)

平町銀行組合

來ル四月十七日縣社子齋倉神社祭典 二付例年通り謹テ臨時休業仕候 但シ日本銀行代理事務又縣支金庫事務ハ平常通り取 扱可申候

告

あつた▲私は時々停車場に轉 任者を見送りするが、白粉や 猪物で見送りする者、お世辭 で見送りする者等々は随分あ る様だが、今度の様に心で見 送りする者は少い様に思ふ。
教育は技術的になつて金權に 阿ふ追従する事が巧妙になつ た▲友情は事務的になつて平 面の如く四周に廣がり過ぎて 厚きを失つて來た。人情紙の 如く薄くなつた今日、齋藤さ んを停車場に見送つて大に教 へられる所があつた。
(一讀者投)

ウエル萬年筆

秀れた耐久力
ウエル萬年筆
金銀五拾錢以上
泉 品 進 呈

魁文堂

今晩は西の風、雨後曇
明日は北西の風、晴時々曇
(小名濱測候所)

あつた▲私は時々停車場に轉 任者を見送りするが、白粉や 猪物で見送りする者、お世辭 で見送りする者等々は随分あ る様だが、今度の様に心で見 送りする者は少い様に思ふ。
教育は技術的になつて金權に 阿ふ追従する事が巧妙になつ た▲友情は事務的になつて平 面の如く四周に廣がり過ぎて 厚きを失つて來た。人情紙の 如く薄くなつた今日、齋藤さ んを停車場に見送つて大に教 へられる所があつた。
(一讀者投)

